

■ヤックス自然学校（株式会社千葉薬品 受託事業）

事業件数：53事業

稼働日数：135日

主な事業：

- ①年間通じて、子ども（幼児、小学生、中高生）対象の自然体験プログラム
- ②ファミリー対象の自然体験プログラム（キャンプ教室、親子スキーツアー）
- ③キャンプリーダートレーニング（NEALリーダー指導者養成含む）

年間参加者数：1,500人

参加者延べ：3,500人

リピーター率：50%

ヤックス自然学校会員数：450名

重点項目：

- ①企業の社会的責任の一環として、社会の動きを素早くキャッチし、安心安全で楽しい自然体験活動を継続的に実施
- ②ホームページやSNS（Facebook、Instagram、LINE）の各特性や機能を効果的に活用し、広報活動（集客や活動報告）を紙媒体からWEBへ移行
- ③キャンプリーダーの募集に注力し、NEALリーダー養成事業の継続（資格取得）と将来、教職員を目指すキャンプリーダー（大学生）の人材育成を年間通じて継続的に実施
- ④業務アプリ等を活用して業務の効率化に取り組み、アクティビティの充実を図る

■事業部：受託事業

事業件数：18事業

主な事業：

- ①地域と連携した教育旅行の体験コーディネート
- ②教育旅行、企業研修、スポーツクラブ、生涯学習等におけるチームビルディングプログラムの提案
- ③企業のCSR等による体験活動支援（ヤックス自然学校、コスモ石油、ハウス食品、千葉テレビ等）
- ④県農林水産部農地・農村振興課 中山間ふるさと活性化チャレンジ事業の発展、継続
- ⑤公式LINEの維持管理、記事の更新、登録者数の増大

重点項目：会員校、ネットワークを活かした地域課題解決への取り組み

- ①指定管理施設及び古民家ろくすけとの連携による教育旅行、企業研修、CSR活動におけるプログラム展開の充実
- ②新たな需要に対応するための人材育成及び外部連携の推進
- ③専属スタッフの教育、人材育成、雇用

■事業部：南房総市大房岬自然の家（指定管理）

事業件数：主催事業 60事業

主な事業：

① 受け入れ事業目標数値：

利用者数25,000人、宿泊者数15,000人、団体数250団体

② SDGsプログラムの誘致と地域連携による受入れ

目標値20校 2,000名

③ 南房総市内小中学校の「南房総学」受入れ

重点項目：

① 次代を担う青少年教育施設のモデル像構築

② 地域内の事業者連携を活かしたSDGs教育旅行の受け入れ増

③ 地域の自然体験活動団体のネットワークの拡充

④ 自然体験活動指導者の育成

■事業部：千葉県立大房岬自然公園（指定管理）

事業本数：主催事業41事業

主な事業：

① 「ファミリーキャンプ教室入門編」

自然の家の施設も使用することにより、小さな子ども連れや天気の急変といったキャンプのウィークポイントも考慮したキャンプ教室

② 「岬のナイトツアー」

季節によってテーマを変えて実施するナイトツアー

③ 「大房岬戦争遺跡ガイドツアー」

大房岬に残る戦争遺跡を巡るガイドツアー

目標数値：キャンプ場利用張数3,350張

主催事業参加者数900人

重点項目：

① キャンプ場の利用団体について、自然の家の施設泊との併用や浴場の使用、ガイドツアーやキャンプファイヤーの指導依頼への取り組みなど、団体のニーズに合わせた受入体制を構築する。

② 来園者の安全を最大限守るとともに、大房に生息する生きものにも配慮した環境整備に努める。

③ 自然の家と連携をしてSDGs教育旅行の受け入れをはじめとした事業運営、公園の管理業務を行う。公園と自然の家の人員を連携して業務を行うことにより、これまで以上に効率的な運営体制の構築を目指す。

■事業部：千葉県立君津亀山青少年自然の家（指定管理）

令和7年度に次期指定管理の提案

事業件数：主催事業48事業

主な事業：

- ①「ファミリー野遊び教室」海や川遊びなど野遊びをテーマに複数回実施
- ②「ボランティア講座」高校生対象・一般対象 対象に合わせた講座を実施
- ③「6歳になったら机を作ろう」木こり体験と学習机を自分で作る体験

目標数値：利用者数35,000人 宿泊者数16,000人 団体数420団体

重点項目：

- ①満足度向上によるリピーター団体の増加（利用者満足度目標98.5%）
- ②事故「ゼロ」への取り組み リスクの早期発見とリスク評価、対策の徹底
- ③集団・人間関係トレーニングの実践（きみかめアドベンチャープログラム）

■地域協働部：ちば・体験活動ネットワーク事業

主な事業：

- ①会員校のFacebook（活動報告、活動案内）記事を随時シェア（共有）して、広く社会に情報発信していく。
- ②会員校（27校）とエリア担当の情報交換、情報共有、協働事業が出来やすい環境を整える。そのために年一回の会員校まわりを理事長、エリア担当者が実施。

■北総エリア（12校）

担当者による定期的な会員校訪問（イベント・農作業手伝い）。

職員と北総会員校との接点づくり。

■上総エリア（7校）

情報発信ツール（千葉自然学校ニュースレター、Facebookなど）の紹介、並びに掲載したい内容をヒヤリングシートなど使用し募る。

各会員校・当団体、双方向に対して人材派遣、講師依頼、会場・備品使用、プログラム依頼、必要な情報の収集・提供など協議しながら必要に応じた相互協力を行う。

■南房総エリア（8校）

会員校の中でも連携先に偏りがある。研修会の開催などを通じて各会員校とコミュニケーションを図り、人材依頼、人材派遣、物品の貸し出しなど今後の相互協力をより強固なものとする。

- ③県内の体験活動団体、個人とのネットワーク拡大、拡充。

■地域協働部：古民家ろくすけ事業

主な事業：

- ①ヤックス自然学校ホームステイ、一般農泊、日帰り利用などの受入れ
- ②フィルムコミッションや独自の広報による撮影利用
- ③生物生息環境の保全と整備、菜園の維持管理
- ④地域産物の加工販売
- ⑤郷土料理・味噌等の加工体験の実施、指導者養成

- ⑥平群ツーリズム協議会、「ろくすけの会」、シニア自然大学、地域団体等と連携した地域活動

目標数値：販売加工品（ジャム、クッキー、みそ、ろくすけもち）

重点項目：

- ①古民家ろくすけの維持管理
- ②企画・運営・管理ができる人材の育成
- ③食品加工（手作りみそ、ろくすけもち等）の若手スタッフへ伝承
- ④施設、菜園、周辺環境・生きもの生息環境の保全・整備
- ⑤地域・都市連携による地域の活性化
- ⑥地元学校教育との連携事業

■千葉シニア自然大学

事業件数：主催 2 コース

主な事業：第 1 3 期

- 1) 本科コース（3 分野 1 7 講座、4 1 単位）
 - ①ちばの里山・里海の保全・活用を学ぶ（8 講座 2 0 単位）
 - ②地球・天文・宇宙のしくみを学ぶ（8 講座 2 0 単位）
 - ③体験活動講座（1 講座 1 単位）
- 2) 自然と俳句コース（全 1 0 回、2 回の吟行を含む）

目標数値：受講者数 本科コース 3 0 名、自然と俳句コース 1 5 名

重点項目：

- ①受講者のより高い満足度を目指し、事務局の十分な準備と受講生同志の交流に配慮した運営を図る。
- ②新型コロナウイルス感染症予防対策に万全を期すとともに状況に応じ研修旅行等特別講座を実施する。
- ③卒業生の交流を活性化し、「古民家ろくすけ」で農業や「アートギャラリー（蔵）」を利用した活動を進めるとともに、それぞれの地域でのボランティア活動等に関わることができるよう支援する。

■地域協働部：体験農園 IN 岩名

事業回数：1 3 回

目標数値：2 5 区画全て利用

主な事業：受付作業等の事務局機能

- ①作付け講習会 9 回
- ②勉強会・メンテナンス 2 回
- ③交流会 2 回

重点項目：

- ①都市部の遊休農地を活用した「農」のある暮らしの提案
- ②継続のための運営方法の効率化